

1. 教育計画

基礎看護学

分野	専門分野 基礎看護学	科目名	病気と看護をつなぐⅢ (運動器)
単位・時間	病気と看護をつなぐⅢ脳神経、感 覚器と合わせて1単位30時間	対象学年	2年生
方法	講義	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	法人講師 渡辺 美喜 (8時間)		
学習目標	運動機能に障害のある人の看護を提供するための知識と技術を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院 成人看護学 10 運動器		
参考文献	特になし		
履修上の留意	学生便覧「履修心得」の通り		
講師からの メッセージ	運動器の疾患によって生じる機能障害・運動障害があり、身体的・精神的・社会的な問題をふまえ、看護を行う際のポイントや援助内容を学習しましょう。患者教育のための指導ポイントも学び、実践できるように理解していきましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	骨折患者の看護	骨折患者の看護 骨折に伴う以下の症状の看護 ・神経麻痺 ・循環障害とフォルクマン拘縮 ・疼痛 ・出血 ・深部静脈血栓症 ギブス固定の方法と看護上の注意点 大腿骨頸部骨折患者の看護 牽引時の看護	講義	
2	2	脊椎・脊髄疾患患者の看護	脊椎損傷、脊髄損傷、四肢切断患者の看護	講義	
3	2	自己免疫疾患患者の看護	関節リウマチ患者の看護（薬物療法や日常生活面での看護含む）	講義	
4	2	変形性疾患患者の看護	変形性膝関節症、変形性股関節症患者の看護 術前～術後の看護（術後感染含む） 回復期の看護（退院後の生活の視点も含む）	講義	
5	2	評価	筆記試験		